

長野県のシダ植物ホットスポット 1

大塚 孝一 *

「長野県のシダ植物」(大塚 1987)で、「主な地域のシダフロラ」として県下の 30 地域のシダを紹介した。現在長野県のシダ植物は、「長野県植物目録 (2017)」(長野県植物目録編纂委員会編)で、24 科 278 種 21 変種 14 品種 80 雑種計 393 種類が記録されていて、地域ごとには多様なシダ植物が生育している。先に紹介した 30 地域と同様に、観察するのに適した場所として多くのシダ植物が生育するホットスポットを紹介していきたい。それらの地域のシダ植物フロラの調査は、主として観察路等を踏破し出現した種類を記録した。証拠標本としての採取は特にしていないが一部は標本として整備している。調査年は主なものを示した。

1 飯田市座光寺南本城城址

飯田市座光寺麻績神社の南西背面にある南本城城址は、海拔高度 480m から 520 mにある。調査対象面積は 200 m× 200 mほどの範囲で、植生はスギ・ヒノキ植林と落葉樹と常緑樹の混交林で、ベニシダ、トウゴクシダ、キジノオシダ、イワヒメワラビ等暖温帯性シダが多くみられる。一方、同所的にシノブカグマやミヤマイトチシダなど冷温帯性のシダが見られるのも特異である。

(記録されたシダ：主な調査年は 2013 年)

アイアスカイノデ、アイノコクマワラビ、アオハリガネワラビ、イヌガンソク、イヌシダ、イヌワラビ、イノデ、イノデモドキ、イノモトソウ、イワデンダ、イワヒメワラビ、ウスヒメワラビ、ウラジロ、エンシュウベニシダ、オオイタチシダ、オオサトメシダ、オオハナワラビ、オオバノイノモトソウ、オオベニシダ、オオホソバシケシダ、オクマワラビ、オシダ、カニクサ、カラクサイヌワラビ、キジノオシダ、キヨスミヒメワラビ、キヨタキシダ、クジャクシダ、クマワラビ、ゲジゲジシダ、コセイタカシケシダ、コバノイシカグマ、サイゴクベニシダ、サトメシダ、シケシダ、シシガシラ、シノブカグマ、ジュウモンジシダ、スギナ、セイタカシケシダ、ゼンマイ、タマシケシダ、ツヤナシイノデ、テリハヤブソテツ、トウゴクシダ、トガリバイヌワラビ、トラノオシダ、ナンゴクナライシダ、ヌリワラビ、ノキシ

ノブ、ハクモウイノデ、ハコネシケチシダ、ハリガネワラビ、ヒカゲノカズラ、ヒメノキシノブ、ヒメワラビ、ヒロハイヌワラビ、ヒロハトウゲシバ、フジオシダ、フモトシケシダ、フモトシダ、ベニシダ、ヘビノネゴザ、ホソバイヌワラビ、ホソバシケシダ、ホソバナライシダ、ホソバフモトシケシダ、マルバベニシダ、ミサキカグマ、ミゾシダ、ミドリヒメワラビ、ミヤマイトチシダ、ヤブソテツ、ヤマイトワラビ、ヤマソテツ、ヤマヒロハイヌワラビ、ヤマホソバイヌワラビ、ヤマヤブソテツ、ヤワラシダ、リョウメンシダ、ワラビ。81 種類。

2 白馬村佐野のスギ林

北安曇郡白馬村の平地にはスギ林が多くあり、その林床にはシダ植物も多い。なかでも海拔高度約 770 mから 790 mにある佐野地区のスギ林(約 100 m× 200 m)には多種多様なシダ植物が生育していて、特にイワガネソウ、ホソバイヌワラビ、カタイノデ、イノデモドキなどの暖温帯性のシダ植物もみられる。

(記録されたシダ：主な調査年は 2011 年)

アイアスカイノデ、アイツヤナシイノデ、アオハリガネワラビ、アズミノナライシダ、イヌイワガネソウ、イヌガンソク、イヌワラビ、イノウエシダ、イノデ、イノデモドキ、イワガネゼンマイ(イワガネゼンマイ S 型含む)、イワガネソウ、イワシロイノデ、ウラゲイワガネ、エゾフユノハナワラビ、オオクジャクシダ、オオサトメシダ、オクマワラビ、オシダ、カタイノデ、カラクサイヌワラビ、キヨタキシダ、クサソテツ、クジャクシダ、クマワラビ、コウヤワラビ、コバノイシカグマ、サカゲイノデ、サカゲイワシロイノデ、サトメシダ、シケシダ、シケチシダ、シシガシラ、シノブカグマ、ジュウモンジシダ、シラネワラビ、ゼンマイ、タカオイノデ、タカヤマナライシダ、タニイヌワラビ、チチブイワガネ、ツヤナシイノデ、トウゲシバ、トラノオシダ、ナガボノナツノハナワラビ、ナツノハナワラビ、ナンゴクナライシダ、ハクモウイノデ、ハリガネワラビ、フジオシダ、ベニシダ、ヘビノネゴザ、ヘビヤマイヌワラビ、ホクリクイノデ、ホソバイヌワラビ、ホソバシケシダ、ホソバナライシダ、ホソバヤマヤブソテツ、ミゾシダ、ミヤマイトチシダ、ミヤマベニシダ、ミ

* 大塚 孝一 〒380-0952 長野市宮沖 199-1

ヤマワラビ、ヤブソテツ、ヤマイヌワラビ、ヤマカラクサイヌワラビ、ヤマソテツ、ヤマドリゼンマイ、ヤマホソバイヌワラビ、ヤマヤブソテツ、ヤワラシダ、リョウメンシダ、ワラビ。72 種類。

3 飯綱町髷山（もとどりやま）

上水内郡飯綱町髷山（744 m）は長野市との境界にあり、上杉謙信が作った山城とされる。髷山西側斜面には林道があり、長野市若槻西条に続いている。林道ぞいはスギ林で、シダが豊富に生育している。林道沿い（市町村境界付近の約 200 m × 50 m ほど）やスギ林下には、ベニシダ、ホソバイヌワラビ、コバノイシカグマ、イワヒメワラビ、イワガネソウなどの暖温帯性シダが見られる。湿地もあり、タニヘゴが見られた。

（記録されたシダ：主な調査年は 2012 年）

アイアスカイノデ、アカハナワラビ、イヌイワガネソウ、イヌガンソク、イヌシダ、イヌワラビ、イワガネゼンマイ（イワガネゼンマイ S 型含む）、イワガネソウ、イワシロイノデ、イワデンダ、イワヒメワラビ、エゾフユノハナワラビ、オウレンシダ、オオサトメシダ、オオヒメワラビ、オオホソバシケシダ、オクマワラビ、オシダ、キヨタキシダ、クサソテツ、クジャクシダ、コウヤワラビ、コタニワタリ、コバノイシカグマ、サカゲイノデ、サカゲイワシロイノデ、サトメシダ、シケチシダ、シシガシラ、スギナ、ゼンマイ、タニヘゴ、タマシケシダ、トウゴクシダ、トラノオシダ、ナガボノナツノハナワラビ、ナツノハナワラビ、ハクモウイノデ、ハリガネワラビ、ヒカゲノカズラ、ヒメシダ、ヒメワラビ、ヒロハトウゲシバ、フジオシダ、ベニシダ、ヘビノネゴザ、フモトシケシダ、ホクリクイノデ、ホソバイヌワラビ、ホソバナライシダ、ホソバフモトシケシダ、マンネンスギ、ミゾシダ、ミヤマイタチシダ、ミヤマベニシダ、ミヤマワラビ、ヤマイタチシダ、ヤマイヌワラビ、ヤマホソバイヌワラビ、ヤマヤブソテツ、ヤワラシダ、リョウメンシダ、ワラビ。63 種類。

4 栄村北野天満宮

下水内郡栄村北野の北野天満宮（標高 495 m）の社叢は、本殿北側のスギ林（約 60 m × 60 m）に興味深いシダ植物が多い。イワガネゼンマイとイワガネソウの雑種のイヌイワガネソウがあり個体数も多い。一方の親のイワガネゼンマイが見られないのは不思議である。ハコネシケチシダとイッポンワラビがあり、両者を比べて観察できる。シケシダと

ホソバシケシダも多く、その雑種のオオホソバシケシダがある。全体として種類数はそれほど多くないが、シダの観察に適している。

（記録されたシダ：主な調査年は 2012 年）

イヌイワガネソウ、イヌガンソク、イヌワラビ、イワガネソウ、エゾフユノハナワラビ、オオサトメシダ、オオヒメワラビ、オオホソバシケシダ、オクマワラビ、オシダ、クサソテツ、クヤマゴケ、サカゲイノデ、サトメシダ、シケシダ、シシガシラ、ジュウモンジシダ、スギナ、ゼンマイ、トラノオシダ、ハクモウイノデ、ヘビノネゴザ、ホソバシケシダ、ホソバナライシダ、シノブカグマ、ミゾシダ、ミヤマワラビ、ミヤマベニシダ、ヤマイヌワラビ、リョウメンシダ、ワラビ。31 種類。

5 南箕輪町大芝高原みんなの森

上伊那郡南箕輪町大芝高原にある「信州大芝高原みんなの森」は、ウォーキングや森林浴で多くの人が楽しめる場となっている。海拔高度は約 800 m で傾斜は緩くほぼ平坦な地である。森はヒノキ林やアカマツ林で、コース沿い（300 m × 300 m）で観察できるシダ植物も多い。ホソバナライシダ、ハリガネワラビ、メニッコウシダが多い。近年ベニシダが増えているようで多くあり、シケシダ類の雑種が見られるのも注目される。

（記録されたシダ：主な調査年は 2015 年）

アイノコクマワラビ、アオハリガネワラビ、アズミノナライシダ、イヌガンソク、イヌワラビ、オウレンシダ、オオホソバシケシダ、オクマワラビ、オシダ、カラクサイヌワラビ、キヨタキシダ、クサソテツ、ゲジゲジシダ、コウヤワラビ、シケシダ、シシガシラ、シノブカグマ、シラネワラビ、スギナ、ゼンマイ、タカヤマナライシダ、ツヤナシイノデ、トウゲシバ、トラノオシダ、ナンゴクナライシダ、ハクモウイノデ、ハリガネワラビ、ハリガネワラビ × メニッコウシダ、ヒカゲノカズラ、ヒメシダ、ヒメワラビ、フモトシケシダ、ベニシダ、ヘビノネゴザ、ホソバシケシダ、ホソバナライシダ、マンネンスギ、ミドリヒメワラビ、ミヤマキヨタキシダ、メニッコウシダ、ヤマイヌワラビ、ヤワラシダ、ワラビ。43 種類。

文献

- 長野県植物目録編纂委員会(2017)長野県植物目録、
長野県植物目録編纂委員会。
大塚孝一(1987)長野県のシダ植物、信毎書籍出版。